

消防だより



川越地区消防組合

# 虹のマーチ

2005.6  
第3号

## 名称が変わりました!

4月1日から下記の組織が新しい名前に変わりました。

川越地区消防局 (旧川越地区消防組合消防本部)

川越北消防署 (旧川越消防署)

川越中央消防署 (旧川越消防署新宿分署)

川越北消防署南古谷分署 (旧川越消防署東分署)



川越地区消防局・川越北消防署 (川越市神明町)



川越中央消防署 (川越市新宿町2丁目)



川越北消防署南古谷分署 (川越市久下戸)

川越地区消防組合では、機構改革を実施し、平成十七年四月一日から、新体制になりました。

機構改革により、消防本部が消防局となり、指揮統制課が誕生しました。この課は、一一九番通報を受けて指令業務を行う指令課と、災害現場で指揮統括を行う指揮担当、火災調査を行う調査担当が統合された新しい課です。

また、消防署についても改正され、これまでの川越消防署が川越北消防署に、同消防署新宿分署が川越中央消防署になりました。

分署については、川越北消防署には、南古谷分署 (旧東分署)、川越中央消防署には、高階分署と大東分署がそれぞれ配置されました。

職員一同、気持ちも新たに住民の皆さんの生命、身体、財産を守っていきます。今後も安全、安心なまちづくりには皆様のご協力をお願いします。

川越地区消防組合



救急車の正しい利用をお願いします！



救急車は、けが人や病人を緊急に病院へ搬送する場合に出動しています。最近、軽い症状でも救急車を利用する人が増えてきました。しかしこれは、事故による大けがの人や、心筋こうそく・脳疾患などで緊急に病院へ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせてしまうことにつながります。平成十六年の救急出動件数は、一三、四〇六件で、そのうち病院で軽症と診断されるものが七、〇五七件で全体の56%でした。現場に居合わせた方は、大変慌てているため、的確な判断力を失いがちです。もう一度冷静になって、救急車が必要かどうか考えてみてください。地域の皆様のご協力をお願いします。

おちついて、ゆっくり、はっきり、正確に

～知っていますか？119番通報のかけ方～

指令室		通報者	
119番です。		火事です。	救急です。
火事ですか？	救急ですか？		
住所と名前を教えてください。		〇〇町〇丁目〇番地です。名前は〇〇です。	
何が燃えていますか？	どうしましたか？	…マンションの〇階部分の部屋が燃えています。	急病人/けが人です。交通事故です。
近くに目標となる建物がありますか？		〇〇小学校（その他、公園や店舗など）の南側です。	
電話番号を教えてください。		〇〇〇-〇〇〇〇です。（119番をかけている電話番号を言ってください）	
はい、わかりました。出動します。			

119番通報は、最寄りの消防署ではなく、川越市神明町にある消防局指揮統制課の指令室につながります。指令室では通報内容に基づき、消防車や救急車を出動させます。しかし、まちがった通報を受けると、車両が到着するのが遅れたり、到着できなかつたりする場合がありますので、正しい情報が必要です。もしもの時に慌てないように、住所（共同住宅の場合は名称・号室まで）・名前・電話番号・近くの目標物を書いたメモを電話のそばにはっておくとよいでしょう。



## 消防庁長官来局

六月一日、林省吾総務省消防庁長官の川越市への訪問が実現しました。

出迎えた川越地区消防組合管理者の舟橋功一川越市長と歓談したあと、林長官は蔵造りの街並みを視察し、先人の残した火災に強いまちづくりに感心した様子でした。

消防局に立ち寄った際には、事務室や通信指令室を見学し、執務中の職員に「ご苦労さま」などと声をかける気さくな一面をのぞかせていました。

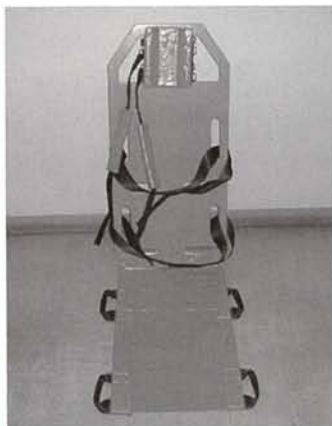


林長官を出迎える職員

## 優秀賞を受賞！

川越西消防署の新井洋一消防副士長が、独立法人消防研究所主催の「消防防災機器の開発・改良及び消防防災科学論文」で優秀賞を受賞しました。

新井副士長は、救出が困難な狭い場所でも傷病者を安静かつ迅速に搬送できる器具を開発しました。開発に当たって、回復後の社会復帰まで視野に入れた点などが高く評価されました。



三月十五日の表彰式に出席した新井副士長は、緊張した様子で総務省消防庁長官より直接表彰状を受け取りました。

川越地区消防組合では、今後もさまざまな災害に備え、消防防災機器の開発・改良を行っていきま



林長官から表彰状を受け取る新井副士長

## セルフスタンドでご利用

最近、セルフサービスのガソリンスタンドをよく見かけます。皆さんは利用していますか？ よく利用する方もそうでない方も、セルフスタンドを利用する場合は、次のことに注意して、安全に利用しましょう。

- ① 給油する場合は、指定された場所に停車し、必ずエンジンを止めてから給油を行いましう。
- ② ガソリンを給油する前は必ず体にたまった静電気を取り除いてから行いましょう。静電気除去シートなどに触れてください。また、給油中はその場を離れないでください。
- ③ 給油ノズルを使用する場合には、ガソリンや軽油を飛び散らせたり、こぼしたりしないよう注意し、扱いに扱います。
- ④ 使用方法等がわからない場合には、従業員に聞きながら取り扱ってください。機器等の周囲にインターホンが設置されています。

\* また、ガソリンを容器へ詰め替えることは認められていません。

## 消防車両紹介シリーズ①

### は し ご 車

長いはしごと大きな車体。大型トラックをベースに、いろいろな消防や救助のための機材を装備したはしご車です。

火災時など、高所からの放水活動や、はしごの先端に付いているバスケットで、高層階に取り残された方の救出に大活躍します。

写真の川越北消防署のはしご車は、最低地上高が46.1メートルで、一般的な高層建築物なら、15階まではしごを掛けることができます。

川越地区消防組合で保有しているはしご車は、川越北消防署のはしご車のほかに、15m級1台・30m級2台のはしご車があり、高層建物の災害に出動しています。

【所有台数】 4台

【配 置 署】川越北消防署・川越中央消防署  
高階分署・川越西消防署



平成16年度に新しく導入された、川越北消防署のはしご車 (46m級)

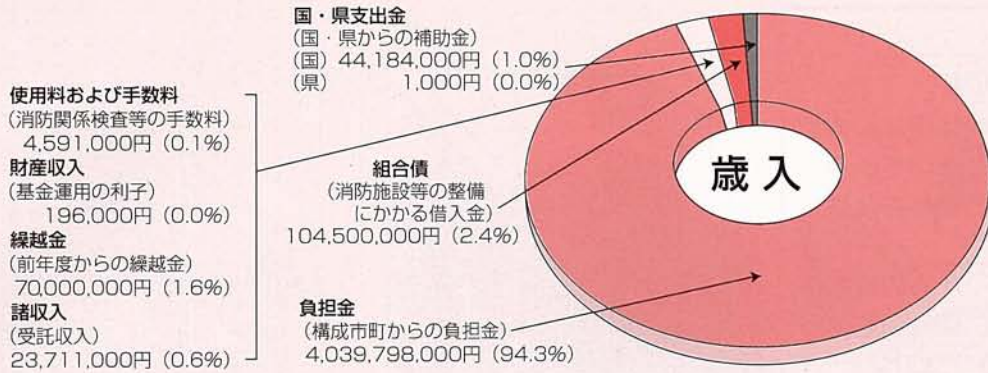


# 「あなたです 火のあるくらしの 見はり役」

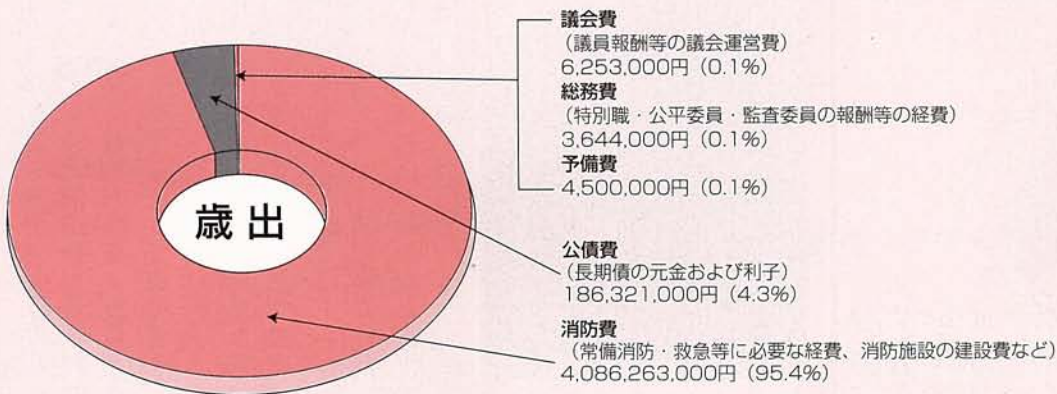
## 平成十七年度予算

【負担金】

消防行政を運営するうえで必要な主な財源は、組合を構成する川越市と川島町からの負担金です。



平成17年度当初予算 42億8,698万1千円



## ☆消防音楽隊☆

川越地区消防組合消防音楽隊は、消防出初式などの各種行事での演奏や川越市・川島町のイベントなどに参加し、「演奏活動を通し、市民との融和を図り、消防業務の推進に寄与する」ことを任務として、平成十三年四月一日に発足しました。現在三十九人の隊員で活動しています。

発足当初は、隊員のほとんどが楽器未経験者のため、音を出すのも、楽譜を読むのも四苦八苦していました。職務の合間や休日にも練習を重ね、少しずつレパートリーが増えてきました。これからも、地域の皆さんに楽しんでもらえる演奏ができるよう、頑張っていきます。

消防だより

## 虹のマーチ

2005.6  
第3号

□発行 / 川越地区消防局総務課  
 □編集 / 川越地区消防組合広報委員会 事務局総務課  
 〒350-0823 川越市神明町48-4 ☎049-222-0700  
<http://www.119kawagoechiku.jp/>  
 消防テレホンサービス / ☎223-0700 \*かけ間違いにご注意ください。

消防の数字? 208,899km

さて、何の距離でしょう?  
 これは平成16年の川越地区消防組合の救急車(10台)が走った距離です。  
 地球を5周した距離に相当します!



火事・救急・救助は 119 番